

# 平成30年度 病虫害発生予察情報

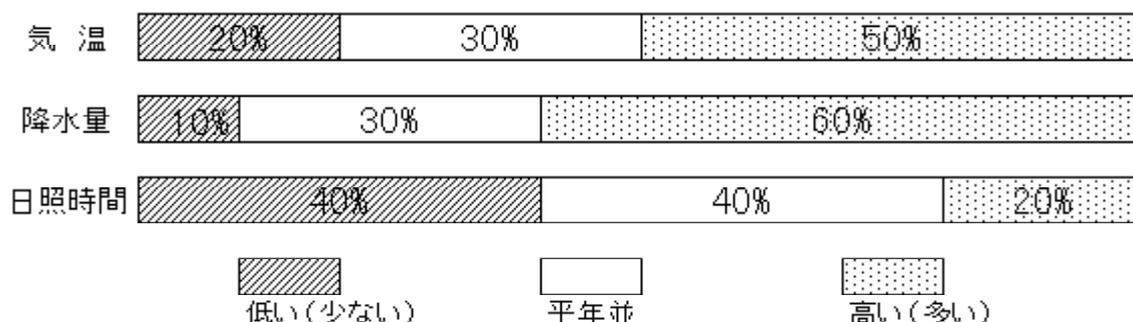
## 発生予報第8号（10月）

平成30年10月3日  
島根県

### 予報の概要

区分	農作物名	病虫害名	予想発生量
果樹	カキ	カメムシ類	やや多い
野菜	キャベツ	黒腐病	やや少ない～平年並
		菌核病	やや少ない～平年並
	アブラナ科野菜	コナガ	少ない
		ハスモンヨトウ	平年並

中国地方1か月予報(9月29日～10月28日・広島地方気象台9月27日発表)  
<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



### A. 果樹

#### 1) カキ

##### (1) カメムシ類 (平成30年度注意報第1号参照)

予報内容

発生地方 県内カキ栽培地帯

発生量 やや多い

予報の根拠

① 9月1半旬から9月6半旬までの予察灯（出雲市）でのカメムシ類の誘殺数は743頭（平年242.9頭）とやや多い。

② 9月下旬の巡回調査での累積被害果率は5.4%（平年5.6%）と平年並みである。

③ 10月の気象は、本種の発生を特に抑制する要因とはならない。

### B. 野菜

#### 1) キャベツ

##### (1) 黒腐病

予報内容

発生地方 県内全域

発生量 やや少ない～平年並

予報の根拠

① 9月21日現在、巡回調査ほ場において発生は確認されておらず（平年発生ほ場率1.3%）、全般の発生量はやや少ない。

② ハスモンヨトウ等食葉性害虫の発生は平年並みと予想されている。

③ 10月の気象は、本病の発生にやや助長的である。

(2) 菌核病

予報内容

発生地方 県内全域  
発生量 やや少ない～平常並

予報の根拠

- ① 9月21日現在、巡回調査ほ場において発生は確認されておらず（平常発生ほ場率2.7%）、全般の発生量はやや少ない。
- ② 10月の気象は、本病の発生にやや助長的である。

2) アブラナ科野菜

(1) コナガ

予報内容

発生地方 県内全域  
発生量 少ない

予報の根拠

- ① 現在のアブラナ科野菜での卵・幼虫・蛹の発生ほ場率は0%（平常18.9%）、寄生株率は0%（平常2.2%）平常に比べて少ない。
- ② 10月の気象は、本種の発生を特に助長する要因とはならない。

(2) ハスモンヨトウ

予報内容

発生地方 県内全域  
発生量 平常並

予報の根拠

- ① フェロモントラップによる累積雄成虫誘殺数は、県東部で1249頭（平常1013.3頭）、県西部で1091頭（平常1355.7頭）と平常並みである。
- ② 現在のアブラナ科野菜での卵塊・幼虫発生ほ場率は20.0%（平常21.7%）、寄生株率は2.0%（平常3.2%）と平常並みである。
- ③ 10月の気象は、本種の発生を特に助長する要因とはならない。

島根県病害虫防除所

(島根県農業技術センター 資源環境研究部 病虫科)

〒693-0035 出雲市芦渡町2440

TEL : 0853-22-6772

FAX : 0853-24-3342

ホームページアドレス :

[http://www.pref.shimane.lg.jp/industry/norin/gijutsu/nougyo\\_tech/byougaityuu/](http://www.pref.shimane.lg.jp/industry/norin/gijutsu/nougyo_tech/byougaityuu/)